

Council No.8 Japan Region

# Newsletter

Vol.22 No.1 Oct.2011

今この時期だからこそ  
「人とのつながり・絆」を  
強く感じる

重要なことは会員のひとり  
ひとりが ITC の魅力を  
再認識すること



## 今期のテーマ



インターナショナル  
日本リージョン  
カウンスル No.8

あなた自らが変化の主体に BE THE CHANGE  
力を信じて Believe in Yourself  
共に歩む Make a Step Forward Together

By Teranishi

## 会長挨拶

秋風が心地よい季節となりました。しかし、2011 年は度重なる自然災害そして原発事故により、失ったものはあまりにも大きすぎました。そのような時だからこそ多くの方が「人とのつながり・絆」の温かさ・大切さを、強く感じられた年であると思います。ITC は会員の皆様とご一緒に、活動し学び合い自分自身を高めていくことはもちろんですが、その過程で会員の皆様とお会いし、意見交換をしながらそれぞれの方の魅力に触れる事が出来るのも、大きな喜びの一つです。震災後の例会

でクラブの方々とお会いでき、ITC で一緒に歩むことのできる嬉しさを、皆様も感じられたのではないのでしょうか。そこで、今期のテーマを「共に歩む」といたしました。皆さんで力を合わせて前進して参りましょう。

近年、ITC を取り巻く環境は大きく変化してきております。その変化に対応すべく対策が講じられてきました。今期も PREM 活動に力を入れてまいります。地域の刊行物を利用したり、外部のゲストを招いての例会など ITC を発信しつづけましょう。

今期は早速、東京クラブ・筑波クラブ・蕪崎クラブでは外部のゲス

トをお迎えして9月例会が開かれました。このような例会が各クラブでも開かれることを願っています。

そして、もう一つ重要なことは会員の皆様に ITC の魅力を再認識していただくことです。

カウンスルでは、プログラムの更なる充実と会員同士の交流に重きを置き、第1回会合の準備を進めております。カウンスル会合ならではの余韻に浸りながら、久しぶりにお会いした方々との交流もお楽しみください。10月31日、素晴らしい景観の会場でお会いしましょう。

# 第 22 期カウンスル No.8 クラブ運営研修会

By Tamura & Sano

## 共に歩むの精神で第 22 回カウンスル No.8 クラブ運営研修会が無事終了

第 22 期カウンスル No. 8 クラブ運営研修会 (CMT) が東京ウィメンズプラザで開催されました。開催日の 8 月 5 日は、各クラブの役員と委員長が参加し研修が行われました。

寺西カウンスル会長の“共に歩む”のテーマのもとに以下の内容で研修が行われました。

13:00 ~ 13:05 開会

13:05 ~ 13:50 部門別研修

13:50 ~ 14:55 全体会

14:55 ~ 15:00 アナウンス メント、閉会

各部門とも熱心な研修が繰り広げられました。全体会では、各部門の研修担当者が、どのような研修をしたかを発表しました。その後、質疑応答、その他検討事項を発表しました。活発な意見と質問が出されました。

来期も 9 月例会前に研修が行われると良いとの意見がありました。

このような形で 9 月例会前に CMT が行われることで新しい役職への不安が、軽減されるものと思います。

今後のカウンスルクラブ運営研修会のために

カウンスル第 1 副会長として計画実施をしたが、いくつかの問題点を感じました。

1) 各クラブの会員数が減少しているため、役員を兼務していたり、従来サブリーダーをお願いしてきた前年度のカウンスル役員がクラブ役員になっていて、役目をお願いすれば参加者が少なくなるという現実と直面し、参加者を確保するためにサブリーダーをほとんどお願いできませんでした。

2) ベテラン会員が多いので、技術的な CMT は本当に必要だろうかとも感じました。負担を減らすため、リーダーからの報告書提出をやめたり、全体会を各部門の報告に終わらず、問題点を全体で共有して活発に討議できた点など、今年の工夫をした点に評価の声もいただいたが、毎年 CMT 対象参加者の会員歴などを見てそれに応じた企画をする必要があると思いました。

9 月例会前にこのような研修会が行われることで、新しい役職への不安が軽減されるのです



# 役員紹介

役員の皆様へ今期カウンスルへの思いと趣味や好きなもの、好きなことについて質問しました。

By : Shinohara

会長 寺西キヌ子

1) 今期カウンスルへの想い。  
充実したクラブ活動はもちろん ITCの基本です。そして、そのクラブが集まるもうひとつ大きな場所がカウンスルです。そこに集いいろいろなことを経験することにより、得たものをクラブ活動に生かしていけるような組織でありたいと思っています。

2) 趣味や好きなもの、好きなこと  
野の花や木々、そして水辺の鳥たちに季節の移ろいを感じながらウォーキングを楽しみ、心身ともに健康をもらっています。朝、カワセミ(きれいですね!)を見ることの出来た日は、何か良いことがあります。うれしくなります。

第1副会長 佐野千賀子

1) 今期カウンスルへの想い。  
会員の定着・増加の為にプログラム充実が第1という思いから、参加者全員が参加するITCらしい充実した、且つ楽しいプログラムを企画したいと、プログラム委員会全員で知恵を絞りました。

2) 趣味や好きなもの、好きなこと  
3月生まれは気が多いようですが、私もその通りで、旅行、音楽、絵画、読書、楽しく人と交わること、等が好きですが、時間が足りずどれも中途半端です。

## 第 22 期

### カウンスル No.8

の役員は皆さん  
熱い心の持ち主  
です

第2副会長 宮田 誠一

1) 今期カウンスルへの想い  
ITCのような組織と活動を求めているながらITCのことをまだ知らない人たちへ・・・その存在をどう発見し、どう近づくか・・・これがすべて。

2) 趣味  
映画-古今東西問わず。特にオールデイズを語れば終りなし。

書記 山口 久美子

1) 今期カウンスルへの想い。  
会員が減少傾向にあるならば、それを逆手にとって、全会員のお名前を覚えて、親しくなりたいです。「顔合わせをして、心を合わせて、それから先、みんなで力合わせをする。」ぜひ、そうなりたいと思います。

2) 趣味や好きなもの、好きなこと  
旅行が趣味です。旅行は、「三度楽しめる」と言われています。旅行に行く前の下調べ、旅行の最中、帰って来てからのファイル作り。どの過程も時の経つのを忘れて楽しいことばかりです。

会計 瀧澤孝子

1) 今期カウンスルへの想い。  
「ITC 仲間の溢れる情熱と行動はどこから来ているのでしょうか?」と言う問いを探りつつ、そのパワーを貰えたら嬉しいと思っています。

2) 趣味や好きなもの、好きなこと  
私の好きな時間は、毎日の忙しい日常を離れてゆったりと流れる時間の中で、コーヒーをお供に気持ちもゆったり出来るような仲間との語らいの時間です。

でも、毎日の忙しい日常生活があるからこそ、この好きな時間が大切なのでしょうね。その他、何でも遊ぶことが大好きです。皆様!誘って下さいね。

議会法規役員 岩佐 圭子

1) 今期カウンスルへの想い。  
会長以下、今期の役員は全員がカウンスルの躍進と充実のため、熱心に取り組んで下さっていることをひしひしと感じます。その情熱を何よりも大切に思います。

2) 趣味や好きなもの、好きなこと  
最近、年のせいか、じっと座っていることが苦手です。つまり、好きなことは軽く身体を動かすこと、ゴルフやダンスのほか、ただ歩くだけでも満足しています。

## この人

今回の「この人」は菰崎クラブの山口久美子さんです。前期の日本語スピーチコンテストで日本一になりました。山口さんにスピーチの極意を伺いました。

<http://www.youtube.com/watch?v=Ru1AwUHJwR4>

上記 URL をクリックすると  
山口さんのスピーチがみられます。



## 菰崎クラブ 山口久美子さん 一位になるつもりで練習しなければ一位にはなれない

### 私とスピーチ

ITC 歴 20 年、クラブに 7 回出場し、優勝 6 回、2 位 1 回。カウンスルに 6 回出場し、優勝が 4 回。3 位が 2 回。リージョンでは 4 回出場し優勝 1 回、3 位が 2 回。今までどうして優勝できないのかがわからなかった。年齢が関係するのか、自分も 60 歳にならなければ優勝できないのかと思った。審査員は必ず、「あなたは若い。次があるからがんばってください。」と言った。しかし、今回優勝できた。そのとき、「29 年のリージョンレベルのスピーチコンテストの歴史の中でトップバッターのスピーカーが優勝したことは初めてだ。」と言われた。言われて気がついたことがある。リージョンに 4 回出場したうちの 3 回がトップバッターだったのだ。しかし、今回はトップバッターでしかも還暦も迎えていない私が優勝できた。スピーチは年齢じゃない、順番も関係ない、話の中身、メッセージは何か、何を一体訴えたいのか、そういった強い思いが入ればかならず聞き手に伝わる。どんなに話し方が上手でも付け焼き刃の内容は聞く人が聞けばわかる。

### 挫折

男女共同参画をテーマに行ったスピーチは自分にとってこれ以上のものはないと思うほどいい出来映えだっ

た。しかし賞には入らなかった。その時の審査員には受け入れてもらえなかった。だからその次の挑戦では今までとは違ったカテゴリーでやってみた。そのスピーチは 3 位に入った。それは聴衆を巻き込むことができたからだと思う。今回は少し考えた。私のスピーチについて人は「山口さんのスピーチはいつも楽しいね。」と言うが、自分としてはいろいろなカテゴリーのスピーチに挑戦していることを知ってほしかった。

### カテゴリーへの挑戦

今回のスピーチは笑わせるシーンは一度もなかった。ITC のスピーチには 6 種類のカテゴリーがあるのだから、それらすべてに挑戦したいと思う。今回優勝したスピーチも当初は情報を伝えるスピーチだった。そのため、刻々と変わる事態を時間を加えることで描写してみるという手法を使ってみた。

### スピーチは共感

確かにカテゴリーはたくさんあるが、時事スピーチでは聴衆に感動を与えることは難しい。聴衆が求めるのは情報でなくその人の意見であり、そこから受ける感動であり、共感である。

## 根底にあるテーマ

「大胆不敵」という論題の時も今回も手法は違っているが、メッセージは共通していた。それは、何かが起こった時は傍観しないで行動するということ。普段からその心構えがなければいざとなった時に役に立たないから。

## スピーチをする前に

皆が陥りがちなのは焦点がずれてしまうこと。いいスピーチは、聞き終わった後、どんなスピーチだったか言える。それができないのはいいいスピーチではない。誰に何を伝えたいかをまず考えること。また、スピーチの構成の段階でも誰に何を言いたいのかを常に自問自答しながら作業する。また、ふさわしい言葉が探せない場合は何人かの人に相談することもよい。また、聴衆を研究することも大事。例えば専業主婦と共働きの女性とでは共感を得る部分、信念や価値観は同じではない。それらを考えないで自分の価値観だけで話すとは聴衆は自己を否定されたと感ずるかもしれない。誰に向かって話すのか、それを考えることは重要。今回のスピーチの内容は全国の皆に聞いてほしいという強い思いがあったので、練習時からすでに、リージョン大会の壇上で話している自分のイメージがあった。このようなイメージトレーニングをすることは大

事。そしてとにかく練習する。お風呂の中でしたり、車の中でしたり、練習は何回もする。

## トレーナーとして

現在パワートークのトレーナーとして実際にワークショップを行っているが、パワートークで扱う内容は本当にスピーチに役立つと実感している。聴衆の研究もしかり、壇上の態度もしかり。パワートークを勉強したことで、自分のスピーチがレベルアップしたと思う。今回優勝したことでトレーナーとしての自信が生まれた。また、パワーポイントも、できなかつたら、できるようにすればいいという前向きな気持ちを持つことで、今ではパワーポイントを使って視覚補材を準備することは当たり前になった。できないことをできるようにすることも大切だが、重要なことは、できないことを数えるより、できることの中から選ぶことによって道は拓けるということ。また、できないと決めつけないこと。できないというのはあなたの心、「成せば成る」、できたら楽しい。ITCの皆は温かい。思いきってやってみる。何も恐れることはない。皆が温かく育ててくれる。見守ってくれる。できないじゃない、していないだけ。できないと思った人は成長できない。一歩自分の気持ちを前に踏み出してみればよい。どう生きたって一生。踏み出せば楽しいよ。道は拓けるよ。勇気を出して。

## 編集後記

寺西会長の「ITCの魅力再認識する」と、山口トレーナーの「できないと思った人は成長できない」の言葉が心に染みました。 Saiki

ニュースレターの担当ですが、初めての事ですので緊張しています。ウエブ委員会の皆様と楽しく作業をしていきたいです。 Tamura

パソコン苦手な私がウエブ委員に・・・そんな私でも委員ともなれば何らかの貢献をしなければ。重くプレッシャーのかかるスタートです。 Shinohara

ニュースレター紙面がおしゃれに変身。一方、ウェブは委員長のPCがアップルで、HPビルダーの不適合により、急遽、私が続投。こちら進化を目指します。 Mizuno

第 22 期

カウンスル No.8